

William Kentridge

What We See & What We Know

Thinking About History While Walking, and Thus the Drawings Began to Move

ウィリアム・ケントリッジ—歩きながら歴史を考える

そしてドローイングは動き始めた……

2010年3月13日(土)~5月9日(日) 広島市現代美術館

休館日:月曜日、ただし3月22日(月・休)、5月3日(月・祝)は開館、3月23日(火)、5月6日(木)は休館

開館時間:10:00~17:00(3月26日(金)~4月4日(日)、5月3日(月・祝)は19:00まで開館)※入館は閉館の30分前まで

主催:広島市現代美術館、京都国立近代美術館、中国新聞社

後援:南アフリカ共和国大使館、広島県、広島市教育委員会、広島エフエム放送、尾道エフエム放送

観覧料:一般 1030(820)円、大学生 770(610)円、小中高生 510(400)円 ()内は前売りおよび30名以上の団体料金 ※5/5(水・祝)は小中高生無料 前売券:5月9日(日)まで チケットぴあ(Pコード:688-972)、広島サティ1階サービスカウンター、フシグランサービスカウンター(広島店1階、ナタリー店1階、高陽店1階、横井店1階)、デオテオ本店地下1階フレイガイド、福屋友の会受付(八丁堀本店7階、駅前店7階)、広島大学消費生活協同組合、ひろしま夢ふらさ・安芸美材、GALERIE 青松、ガレリア・レイノ、キャラリーヨコタ、木村画材、ピカソ画材、ブラック画材、中国新聞社 ※3月12日(金)まで 広島市現代美術館ミュージアムショップ

Learning from the Absurd

Against Certainty

In Praise of Doubt

Thick Time

Visible Time

Fragile Identities

Seeing Double

Everyone Their Own Projector

Thinking Aloud

This Disease of Urbanity

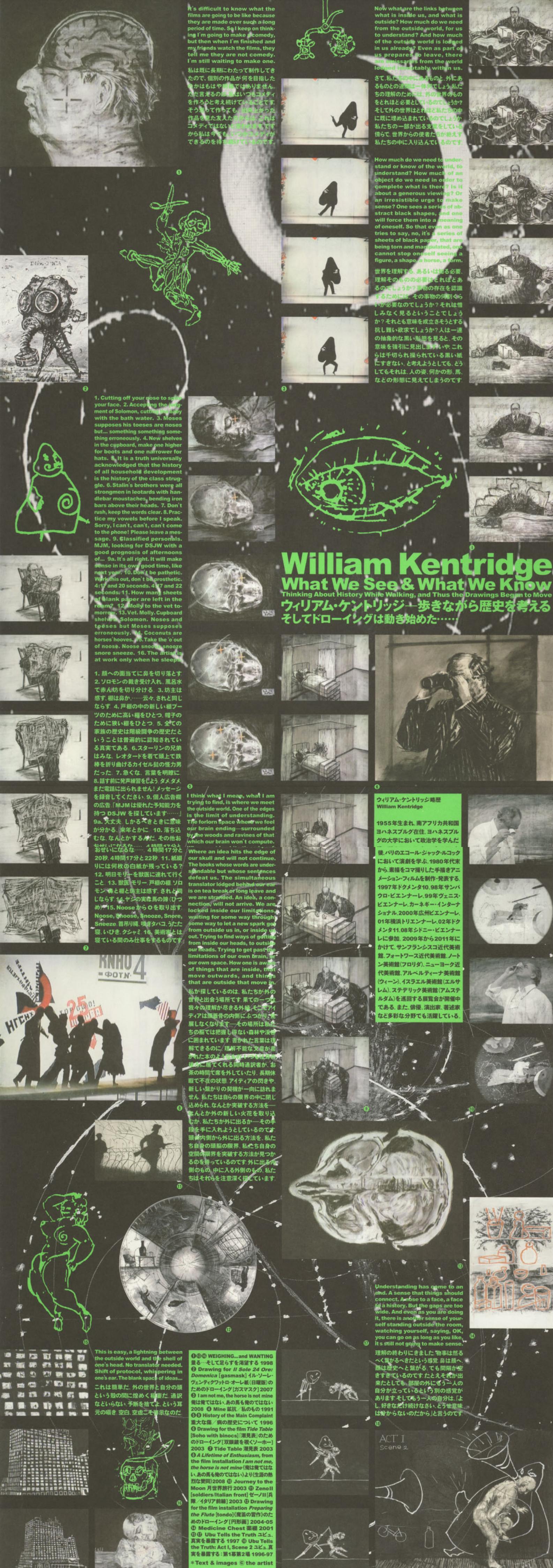
20
TH
ANNIVERSARY



Hiroshima
MOCA
Hiroshima City Museum
of Contemporary Art

Stone-Age Filmmaking

Geography of Memory



ウィリアム・ケントリッジ(1955年南アフリカ共和国生、ヨハネスブルグ在住)は、1980年代末から、「動くドローイング」とも呼べるアニメーション・フィルムを制作しています。木炭とバステルで描いたドローイングを部分的に書き直しながら、その変化を1コマ毎に撮影する気の遠くなるような作業により、絶えず流動し変化するドローイングを記録することで生まれる彼の作品は、独特的物語性と共に集積された行為と時間を感じさせる重厚な表現となっています。ケントリッジの作品は南アフリカの歴史と社会状況を色濃く反映しており、自国のアパルトヘイトの歴史を痛めと共に語る初期作品は、脱西欧中心主義を訴えるポストコロニアル批評と共に鳴る美術的実践として、1995年のヨハネスブルグ・ビエンナーレや1997年のドクメンタ10などを契機に世界中から大きな注目を集めました。しかし私たちは、その政治的外見の奥で、状況に抗する個人の善意と挫折、庇護と抑圧の両義性、分断された自我とその再統合の不可能性などの近代の人間が直面してきた普遍的な問題を、彼の作品が執拗に検証し語り続けていることに注目すべきでしょう。「石器時代の映画制作」と自称する素朴な制作技法に固執しながら、ケントリッジは近代の物語生成の原点を、そしてヨーロッパ植民地主義の病理の原点を作品を通して探求しているのです。精緻なセル画アニメやCGが主流である現代のアニメーション制作の状況の中で、ケントリッジの素朴な技法は対極に位置していますが、強靭な知性に支えられた力強い表現は、ドローイングのコマ撮りアニメーションが未だに有力な表現手法となり得ることを証明しており、1990年代中頃からその作品は、世界中の若い世代の美術家たちに大きな影響を与え続けています。今回の展覧会は、ウィリアム・ケントリッジとの3年間にわたる緊密な協同作業を経て実現されるもので、日本では初の大規模な個展となります。南アフリカの歴史を扱った初期の代表作『プロジェクトのための9つのドローイング』(1989-2003)から、ショスタコーヴィチのオペラ「悲劇」を題材にした最新作の『俺は俺ではない、あの馬も俺のではない』(2008)まで、フィルム・インスタレーション4点を含む18点の映像作品と、約90点の素描、版画により、ウィリアム・ケントリッジという私たちの同時代の美術家の作品とその知的挑戦の全体像を紹介します。

Prayers of Apology

(FOR) GIVE

In Praise of Shadows

Smoke, Ashes, Fable

Middle-Aged Love

L'inesorabile avanzata

News from Nowhere

Panic Picnic

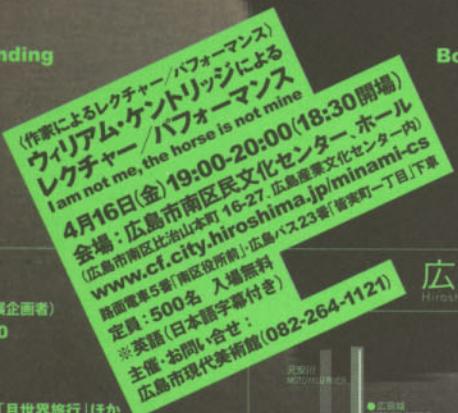
Casspirs Full of Love

Backwards and Forwards

The End of Understanding

Bodies in the Landscape

Drawings for Projection



[講演会]
講師：河本信治
(京都国立近代美術館学芸課長、本展企画者)
3月14日(日) 14:00~15:30
申込不要、聴講無料

[上映会]
ショルシュ・メリエス作品上映会「月世界旅行」ほか
4月10日(土) 14:00~18:00~ 会場：広島市映像文化ライブラリー
www.cf.city.hiroshima.jp/eizou
定員：約170席 入場料金：500円
共催：広島市映像文化ライブラリー(TEL.082-223-3525)

[キッズ・アニメーションワークショップ]
「春を探してみんなでアニメーションにしよう」
講師：米正万也(アニメーション作家)
4月25日(日) 10:30~16:30
対象：10才以上、定員：20名、要申込(申込方法はHPをご覗ください)

[担当学芸員によるギャラリー・トーク]
3月27日(土)、5月1日(土) 14:00~15:00、申込不要

広島市現代美術館
Hiroshima City Museum of Contemporary Art

〒732-0815 広島市南区比治山公園1-1

Tel.082-264-1121 www.hcmca.cf.city.hiroshima.jp



[交通案内]

- 広島駅から
- 路面電車：5番「広島港」行き→「比治山下」下車、約500m
- バス：① 広島バス(26-1番系統)「旭町」行き (② 広島バス(31番系統)「東病院」行き) →「段原中央」下車、動く歩道比治山スカイウォーク経由で約700m
- タクシー：約10分
- 紙屋町・八丁堀から
- バス：紙屋町(県庁前)バス停・八丁堀(天満屋前)バス停
広島バス(23-1番系統)「大学病院」行き(比治山トンネル経由)→「段原中央」下車、動く歩道比治山スカイウォーク経由で約550m
- [駐車場]
美術館専用の駐車場はありませんので、周辺の駐車場をご利用ください
- ① 比治山公園内：約120台分、無料、利用時間 9:00~19:00
- ② 広島段原サティ駐車場(サティ休業日を除く)：サティFサービスカウンターへ当館チケットの半券または入場整理券を持参 当日に限り2時間無料